

情報収集提供業務に関しては、主要な畜産物、野菜、砂糖及びその原料作物並びにでん粉及びその原料作物の生産及び流通に関する情報について、収集、整理及び提供を行っている。平成29年度においては、当機構業務であるこれら品目の生産者の経営安定対策、需給調整・価格安定に関連したテーマを中心に、農政上の重要課題である収益力や生産基盤の強化等に向けた取り組みなど、調査テーマを重点化して定め、業務を実施した。

また、国民消費生活の安定に寄与するよう、農畜産物に関する知識の普及等、消費者の関心の高い情報を積極的に提供した。

1 情報の収集

(1) 国内

価格・需給データ、需給関連の調査分析報告、優良事例及び地域情報等について、機構職員や専門調査員により収集・整理・分析した。

(2) 海外

機構職員による価格・需給データ、需給関連の調査分析報告及び優良事例等の調査等を基本に、国際会議等への参加による情報収集に加え、コンサルタントの活用等により収集・整理・分析した。

2 情報の提供

(1) 定期刊行物による提供

月報「畜産の情報」、「野菜情報」及び「砂糖類・でん粉情報」の発行による提供とともに、別冊統計資料（畜産、野菜、砂糖類・でん粉）を年1回発行した。

(2) ホームページによる提供

定期刊行物に加えて、年報「畜産」、「国際情報コーナー」及び「国内統計資料」、「海外統計資料」への掲載による提供を行った。

(3) メールマガジンによる提供

メールマガジンにより、各情報誌の発行情報、海外情報、alicセミナー開催案内などの迅速な提供を行った。

(4) alicセミナーなどによる提供

本部におけるalicセミナーや地方事務所における地域情報交換会などにおいて、生産、流通、消費、制度などに関する情報のほか、海外現地調査に関する情報等について、利用者のニーズに応じた情報提供を行った。

3 主要な提供テーマ

(1) 畜産

- ・JA出資型酪農生産法人による酪農生産基盤の維持・拡大～北海道標茶町の(株)TACSしべちゃの取り組み～
- ・次代に道を拓く知的装置か『ロボット搾乳』の現段階
- ・耕畜連携による水田飼料作物の生産・利用方式 ～酪農経営における飼料用米・稲WCS利用～
- ・国産ナチュラルチーズをめぐる状況
- ・超大型肉用牛繁殖経営の出現～成立過程と技術的基盤～
- ・主要国（米国、EU、豪州、NZ、中国）の酪農、牛乳乳製品をめぐる状況に

ついて

- ・ ミャンマーの酪農、牛乳・乳製品をめぐる現状と課題
- ・ 中国家畜産業の動向～ブロイラー、鶏卵を中心に～
- ・ スイスの酪農と競争力強化の取り組み
- ・ 豪州の生体牛輸出動向～アニマルウェルフェアと家畜疾病管理における変化を中心に～

(2) 野菜

- ・ 加工・業務用野菜生産による大規模野菜作経営体の形成と展開～岡山県笠岡湾干拓地の実態から～
- ・ グローバルGAP認証取得農業経営の現状と課題～長崎県諫早市愛菜ファームを事例として～
- ・ レストランと連携したヨーロッパ野菜産地形成～「さいたまヨーロッパ野菜研究会」の活動～
- ・ 水田転作によるスーパー向け野菜導入からレストラン向け業務用野菜への展開～富山県砺波市のみずほ農場株式会社を事例として～
- ・ 北海道のたまねぎ産地における通年加工への対応～株式会社グリーンズ北見の取り組み～
- ・ ベトナムの野菜の生産、流通および輸出の現状
- ・ 台湾のレタスの生産および輸出動向
- ・ 豪州におけるブロッコリーの生産および輸出動向
- ・ EUにおける野菜の地理的表示
- ・ 台湾のえだまめの生産、流通および輸出の現状

(3) 砂糖

- ・ 人工甘味料と糖代謝
- ・ 地域のでん菜作付面積の維持・確保のための春作業軽減に向けた取り組み～有限会社メロディーファームの事例～
- ・ サトウキビの生産から出荷まで幅広く手掛ける株式会社南種子精脱葉～平成27年度サトウキビ生産改善共励会最優秀賞受賞～
- ・ ポーランドの砂糖産業の動向
～EUの砂糖生産割当廃止の影響を中心に～
- ・ 政策変更が進むタイの砂糖産業の動向

(4) でん粉

- ・ かんしょ苗は小型で軽労・省力化を実現
- ・ ジャガイモシストセンチュウ抵抗性を持つ新品種の導入～JAこしみずの取り組み～
- ・ かんしょでん粉の食品用途拡大に向けたJAグループ鹿児島の取り組み～こなみずき生産者部会の設立と安定供給に向けた体制づくり～
- ・ 菓子の輸出拡大に向けて～国内産いもでん粉の需要拡大の視点から～
- ・ 東南アジア（タイ、ベトナム）のタピオカでん粉需給動向

4 消費者代表との意見交換会

中期計画においては、「消費者等への情報の提供については、消費者等の視点に立ってその要望に応えた分かりやすい情報とするため、消費者等との意見交換会等を通じた双方向・同時的な情報や意見の交換を行うことにより、消費者等の理解の促進を図る」としている。このことを踏まえ、以下のとおり消費者代表との意見交換会を実施した。

開催日	分野	内容等
平成 29 年 10 月 10 日 (火)	野菜	野菜の生産現場等を訪問し、生産者などと意見交換をすることにより、野菜農家の実態や流通及び機構業務について情報共有を図るため、野菜需給協議会現地協議会と合同開催。〔富士食品工業(株)カット野菜工場、邑楽館林農業協同組合(管内のきゅうりのほ場、きゅうり集出荷場、農産物直売所「ぼんぽこ」)〕
平成 29 年 12 月 14 日 (木)	でん粉	機構の会議室において、消費者に馴染みの薄いかんしょでん粉を機構及び産地の立場から紹介し、でん粉の専門家などと意見交換をすることにより、でん粉の用途や機構業務等について情報共有を図った。〔JA 全農から「国内産でん粉の製造と販売について」、鹿児島県大隅加工技術研究センターから「かんしょでん粉の魅力と利用について」の講演、かんしょでん粉を用いた食品(羊羹、冷麺、さつま揚げ、焼き菓子等)の紹介・試食〕

5 「消費の道しるべ」等への記事掲載及びセミナーの開催

機構の各業務や業務を通じて得られた様々な情報について、広報活動をはじめとした様々な手段・方法で広く国民の皆様知ってもらえるよう、情報の社会的発信の強化として、広報誌「a l i c」を発行(隔月)するとともに、セミナーを開催した。

また、一般財団法人消費科学センターが発行する「消費の道しるべ」及び全国地域婦人団体連絡協議会が発行する「全地婦連」に消費者の関心のある記事を掲載した

(1) 広報誌「a l i c」の発行

発行月	主な掲載内容
5 月	<ul style="list-style-type: none"> ・種類別×形態×フレーバーから生まれる無限大のアイスクリームの魅力～5月9日はアイスクリームの日(5月はアイスクリーム月間)～ ・「自分へのご褒美」野菜プチヴェール～静岡県浜松市 原田正彦さん～ ・氷砂糖のあれこれ
7 月	<ul style="list-style-type: none"> ・日本の野菜をおいしく食べる!～長崎ちゃんぽん・長崎皿うどんの野菜、麺の小麦、餃子はすべて国産品 ・九条ねぎの生産・加工・販売6次産業化で売り上げ10億円～こと京都株式会社～ ・鶏肉が食肉消費の主役に
9 月	<ul style="list-style-type: none"> ・離島・亜熱帯など条件不利地域の石垣島での酪農経営、6次産業化にかける思い～平成28年度農林水産祭の畜産部門で天皇杯受賞～ ・さとうきびの生産に生きる～与論十五夜踊りの祈りとともに～ ・四万十川流域で育てるこだわりの「四万十牛」～高知県四万十市 横山大河さん～
11 月	<ul style="list-style-type: none"> ・畜産経営に女子力の発揮～持続可能な畜産経営の実現に向けて女性の力を集結～

	<ul style="list-style-type: none"> ・「北海道ゆうべつ産」の牛肉をみんなに届けたい～北海道湧別町黒毛和牛・交雑牛生産者の取り組み～ ・夢のある農業を実現～北海道恵庭市 余湖 智さん～
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・新年のごあいさつ ・でん粉原料用ばれいしょ生産と酪農の複合経営の取り組み～北海道小清水町 大出悠司さん～ ・酪農家の経営を支える制度が変わります
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養補給品としても見直される飴（キャンデー）の魅力～ホワイトデーはキャンデーの日 ・顧客の声を豚肉作りに～岡山 J A 畜産とおかやまコープの連携～ ・地域の活性化につながる農業をめざして～株式会社やさいの樹 塚本 佳子さんの取り組み

(2) セミナーの開催

実施月	主なテーマ
4月	「豪州の酪農乳業事情」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 大塚 健太郎 「ニュージーランドの酪農乳業事情」 独立行政法人農畜産業振興機構 畜産需給部乳製品課 小田垣 諭司 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 竹谷 亮佑
6月	「東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた持続可能な食材供給と国際水準GAPの推進について」 農林水産省生産局農業環境対策課農業環境情報分析官 栗原 眞 氏 「ウルグアイの牛肉生産の現状と輸出市場での潜在力」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 米元 健太 「カナダの養豚・豚肉産業の現状と見通し」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 野田 圭介
8月	「日本版畜産 GAP (JGAP 家畜・畜産物) の推進について」 農林水産省生産局畜産部食肉鶏卵課国際情報分析官 関川 寛己 氏
9月	「卸売市場の社会的役割と今後の改革方向」 東京聖栄大学 客員教授 藤島 廣二 氏
10月	「インド酪農の概要と世界の牛乳乳製品需給に与える影響」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 三原 互 「アルゼンチン酪農乳業の現状と今後の見通し」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 佐藤 宏樹
12月	「米国酪農の現状と見通し」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 渡邊 陽介 「EU酪農の現状と見通し」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 大内田 一弘
3月	「生産割当廃止を迎えた EU の砂糖産業の動向」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 佐々木 由花 「タイの砂糖政策の変更が需給に与える影響」 独立行政法人農畜産業振興機構 調査情報部 丸吉 裕子

(3) 「消費の道しるべ」への掲載

掲載月	掲載内容
7月	第12回食育推進全国大会に参加しました

8月	安心・安全なブランド野菜の生産を目指して～神奈川県三浦市の野菜生産～
9月	鶏肉が食肉消費の主役に
10月	肉用子牛をめぐる最近の動向について
11月	かんしょでん粉について
12月	指定野菜価格安定対策事業について
1月	北海道ゆうべつ産の牛肉をみんなに届けたい
2月	さとうきび、てん菜など地域の基幹作物を支える砂糖の価格調整制度
3月	野菜を上手に保存して無駄なく使い切りましょう～ホームページコンテンツのご案内～

(4)「全地婦連」への掲載

掲載月	掲載内容
6月	農畜産物のこと、もっと知ってみませんか？～広報誌・イベントなどのご案内～
9月	氷砂糖のあれこれ
2月	酪農ヘルパー地域で活躍！